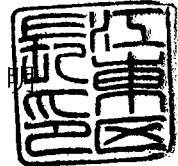


20江土道第2139号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

江東区長
山 崎 孝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号により、貴職から依頼のありました標記の件について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 別紙、様式①～④のとおり

連 絡 先

江東区 土木部参事 道路課長事務取扱い

並木 雅登

TEL 03-3647-9111(内6430)

国の根幹を支える重要な幹線道路網は、広域的視点に立って、着実に整備をすることが求められる。
また、その整備に当たっては、中長期的な見通しに立ちながらも、早期に事業効果の発揮が期待できる区間に、短期集中的な投資を行なうことも重要である。

国、地方を問わず、必要な道路事業は数多くある。さらに、今後、既存の道路施設が全国的に更新期を迎えることを考えると、安定した道路財源の存在は欠くことができない。

国において道路特定財源の一般財源化を進めるのであれば、道路利用者の受益者負担を前提に設けられた揮発油税等は、一般財源化する部分についても、交通手段の転換を通じて道路渋滞解消に寄与する、地下鉄整備等の公共交通網の整備に優先的に充当されるべきである。

地下鉄8号線(豊洲-住吉間)の整備は、既存ストックを活用した短期集中的な投資により、早期に事業効果を発揮する施策であり、財政支援の充実を強く望む。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

○ 現状	○ 課題
1. 渋滞問題 (1) 中央環状線の内側に位置し、区内道路網が通過交通の影響を強く受ける本区は、通過交通が多く、渋滞の大きな要因になっている。 (2) 国道357号夢の島交差点は渋滞が慢性化している。また本区新木場地区にある国道357号の荒川河口西詰交差点は、東京港臨海道路の竣工が予定される平成22年度以降、交通量の増加による交通混雑が予想され、緊急な対策が必要となる。 (3) 東京湾岸道路は東京港トンネルが首都高速区間しか供用されていないため東京湾岸道路のネットワークを阻害している。 2. 維持更新 本区の区有橋梁86橋のうち、その3分の1にあたる28橋がすでに架設後50年を越える老朽橋梁となっている。 3. 道路ネットワーク 本区においては、区施工路線である補助200号線、補助199号線のうち豊洲橋に係る区間において事業中であるが、それに続く蛤橋、浜園橋に係る区間、さらに補助115号線が未着手である。 また都施工路線では、臨海道路と区内陸部を直接結ぶ補助144号線に事業化の見通しが立っており、臨海道路の整備が進む中で、ネットワークの課題となっており、早期の事業化が望まれる。 4. 防災上支障となる歩行空間と都市景観 (1) 無電柱化事業 本区では現在、富岡地区において、無電柱化モデル事業に着手しているが、歩行者空間のバリアフリー化、地域の安全、活性化のため、より広域的に事業を進める必要がある。 (2) 駅前広場の現状 毎年1万人の人口が増加し、業務機能の集中も進む本区においては、鉄道駅周辺の地域交通のターミナルとしての役割が増大している。 (3) 生活道路の質的向上 本区の道路は、歩車未分離の狭隘な道路が多く残されている。地震等の災害時に避難路としての使用に課題がある道路も多く存在するため、区民が安全かつ健康で文化的な生活を送るために生活道路の質的向上が不可欠である。 (4) 危険な自転車歩道通行 狭隘な生活道路を走行する自転車による交通事故が急増している。	1. 渋滞解消 (1) 首都圏三環状道路の整備促進・第二湾岸道路の早期事業化 (2) 新木場地区の357号線立体化工事の早期完了 (3) 国道357号の東京港トンネル区間の整備 2. 維持更新 (1) 橋梁等の道路施設の更新 3. 都市計画道路の整備 (1) 都市計画道路の整備 4. 防災・快適な歩行空間・都市景観の整備 (1) 無電柱化事業の促進 (2) 駅前広場の整備 (3) 生活道路の質的向上 (4) 自転車専用レーンの設置

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②
東京都 江東区

5. 大規模な宅地開発や、業務商業施設の建設によって、ヒートアイランド現象が進んでいる。江東区の街路樹は現在8700本余り植栽されているが、更なる街路樹の充実が求められる。

5. 街路樹の充実

○ 現状

江東区は伝統が息づく既成市街地と臨海部など躍動感のある新しい市街地の両面を併せ持っている。また、集合住宅建設による大幅な人口の増加、東京湾での埋め立てにより引き続き新たなまちができるなど、今後
も大きな可能性を秘めている。

大規模開発や再開発等の既成市街地などによる変化に対応した公共施設の適正配置と都市基盤の適切な整備と景観形成が求められている。

○ 課題

- ・ 区民の生活利便性や産業活動を支える道路網を整備、充実する。道路ネットワークの整備充実
- ・ 年齢や国籍、障害の有無に関係なく、すべての人が生活、活動しやすいユニバーサルデザインのまちづくり。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	・幹線道路網の整備 首都圏三環状道路の整備促進 国道357号の立体化工事の早期完了 国道357号の東京港トンネル区間の整備	・都市部の渋滞解消・速達性の向上	○ その他
・良好な居住環境の形成	・無電柱化事業 富岡地区無電柱化モデル事業(H17年～H22年) 延長 1500m	・歩道の幅員を確保し、誰もが歩きやすい歩行空間の確保が図られ、災害時の危険性の軽減、美しい町並みが形成される。快適な生活空間の形成。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・都市計画道路の整備促進 補助線街路199号の整備 補助線街路200号の整備 補助線街路115号の整備 補助線街路144号の整備 放射32号の整備	・市街地整備の進展による都市構造の変化に対応する道路網の整備・充実は、物流の効率化、中心市街地の活性化に大きな効果をもたらす。	
・都市の大気汚染及び騒音等に係る生活環境の改善	・橋梁の維持更新	・幹線道路に緑豊かな街路樹を整備するため、樹木数の増加や地域の特性に合った樹種の転換を行い、緑のネットワークを形成する。 平成18年現在8700本の街路樹をを倍増する。	・都市景観の改善や、ヒートアイランド現象の緩和